

# 目次

CAT and WIDOWER  
Presented by  
SUGISAKU



|        |          |     |
|--------|----------|-----|
| 第 1 話  | 妻のやりたい事  | 3   |
| 第 2 話  | 使命       | 15  |
| 第 3 話  | 手料理      | 21  |
| 第 4 話  | シャボン玉    | 27  |
| 第 5 話  | さみしい者同士  | 35  |
| 第 6 話  | 弱虫       | 41  |
| 第 7 話  | 忘れ形見     | 47  |
| 第 8 話  | 家族の一員    | 53  |
| 第 9 話  | ゆびきりげんまん | 61  |
| 第 10 話 | 家族写真     | 67  |
| 第 11 話 | お腹を空かせて  | 71  |
| 第 12 話 | 嫉妬       | 77  |
| 第 13 話 | 友達       | 83  |
| 第 14 話 | 夜の出来事    | 91  |
| 第 15 話 | 家路       | 97  |
| 第 16 話 | 花火       | 103 |
| 第 17 話 | 旅        | 109 |
| 第 18 話 | 電車       | 115 |
| 第 19 話 | 麦わら帽子    | 121 |
| 第 20 話 | アルバム     | 127 |
| 第 21 話 | 願い事      | 133 |
| 第 22 話 | “しあわせ”   | 141 |
| 第 23 話 | 帰路       | 147 |
| 第 24 話 | 呼び声      | 153 |
| 最終話    | これから     | 159 |

おまけ 166



## 第1話 妻のやりたい事





これ  
君に

会社でもらった  
んだけど  
花屋さんで  
アレンジして  
もらったんだ

まあ  
うれしい  
ありがとう

思っても  
みなかったわ  
アナタから  
花束をもらっ  
たなんて

君には  
苦労かけ  
たね

いや

こちらこそ  
長い間  
ありがとう

苦労なんて  
そんな

アタシは  
別に…

いやオレは  
仕事のウツブ  
ンを君にぶつ  
けてた所が  
あるから

ゴメン

でもこれからは  
君がオレに  
ワガママを  
言ってくれ

やりたい事が  
あるって言っ  
てた  
じゃないか  
オレが退職  
したら

何でもきこ  
よ  
あんまりお金の  
かからない事なら

やりたい事は  
たくさん  
あるけど

一番は

猫を  
飼いたいの  
どうしても



数ヶ月後

是  
不諸法  
生不寂  
相



旦那さんも  
かわいそう  
だわねエ

一人残さ  
れて...



ホント  
に...

すい臓  
ガンだつて

かわい  
そうに

ホント  
あつという間  
だったわねエ

見つかつた  
時はもう  
手遅れだつた  
みたいよ



四  
月  
改  
正  
中  
新  
色  
紙  
想  
行  
誠  
意  
可  
貴  
の  
時  
節













## 第2話 使命







〇月△日

# 「突然のガン宣告」

心のどこかで覚悟はしていた  
そのつもりだったのにやっぱりショックだった  
こんなに進行してるとは……

生きたいというよりワタシのいなくなった  
その後のことはかり考えてしまう  
残された圭一郎さんはどんなにつらいだろう  
何をしても一人きり  
ワタシだったら耐えられない  
涙もろい所がある圭一郎さんはきっと  
毎日泣いているのではないかな

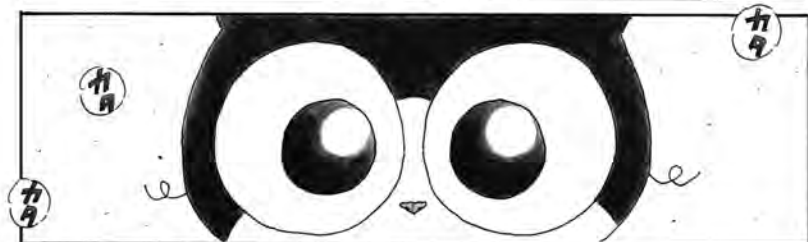


○月×日

# 「運命の出会い」

この先どうすればいいのか  
悩んで頭がいっぱいで歩いていると  
突然 まんまるの目がワタシの目の中  
にとびこんできた

「ちょこすけとの運命の出会いだった  
このコならきっと……ワタシの心の中で」



○月○日  
「明日入院  
もうこれから  
明日から  
もうたぶん  
ちょこすけ  
きっと  
アヤ  
ま



〇月〇日

「明日入院」

もうこれが最後の「ブログ」になると思う

明日から入院だ

もうたぶん生きてこの家には帰ってこれないだろう

ちょこすけ! 圭一郎さんを支えてあげて

きっとあの人は普通ではいられなくなるから

アタはその使命を帯びてこの家にやってきたのよ

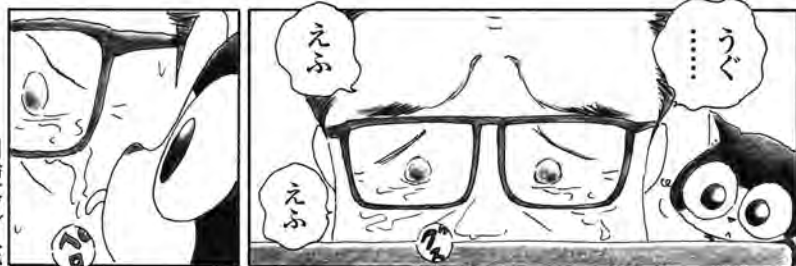


まだ「小さい ちょこちゃんに こんなことを

たのんで」ゴメンね

ちょこちゃんもさみしいよね ワタシがいなくなって

でも アタは 天真爛漫に育つてくれると思います  
 そして きっと アタの存在が あの人の 救いになるはず  
 ふたりで よりよい 支え合って  
 しあわせに 生きていけると 信じています  
 きっと ....



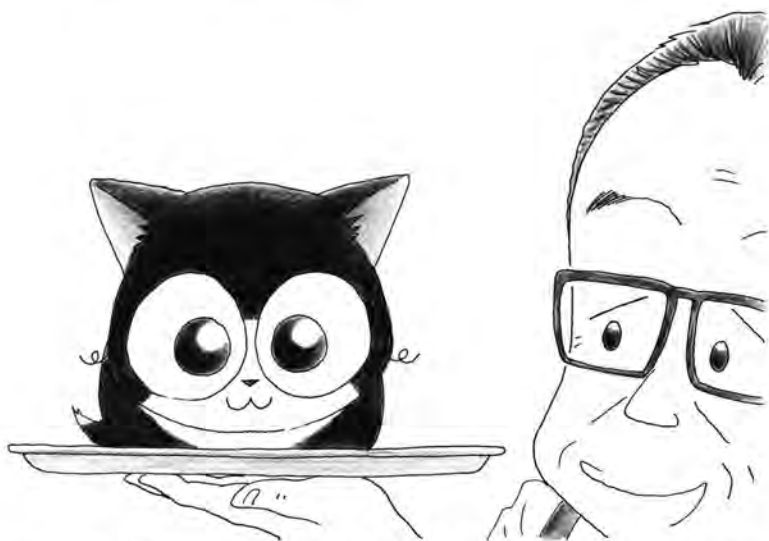
■使命／完

でもそれは後で単に猫がしょっぱい物を好み  
 ただなめていただけだと判明する

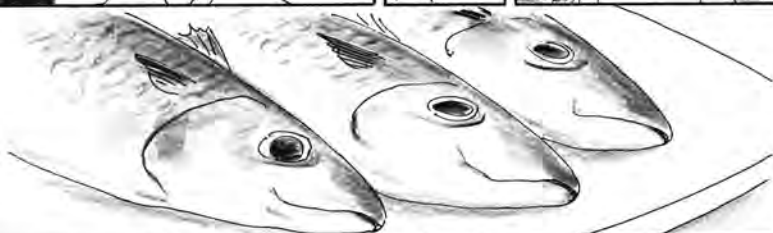


ちょこすけはまるでボクを慰めてくれるように  
 何度も何度も涙をなめてくれた...

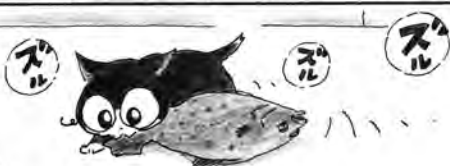
### 第3話 手料理













■手料理／完



# 第4話 シャボン玉











